



取扱説明書

ドライブレコーダー



品番 CA-DR03HTD

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.4～7)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この説明書は大切に保管してください。

適合機種(2020年10月現在)

- CN-F1X10BLD ●CN-F1X10LD

詳しくは、お買い上げの販売店にご確認ください。

事故が起こったときは

記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDメモリーカードを取り出してください。

取り出すときは、必ず車のエンジンを切り(ACC OFF)、LEDランプが消灯した状態をご確認ください。



保証書付き

YEFM043299 F0720-0

もくじ

内容物の確認	3
安全上のご注意	
安全上のご注意	4
はじめに	
使用上のお願い.....	8
各部のなまえとはたらき	10
SD メモリーカードについて	12
使いかた	
ドライブレコーダーの設定をする.....	14
常時録画（動画）.....	16
駐車録画（動画）.....	17
手動で動画を録画・静止画を撮影する	18
動画・静止画を再生する	19
ファイルを移動・削除する	21
リヤカメラで後方を確認する（ワンタッチ後方ビュー&リバース後方ビュー）	22
DR Video Viewer	
パソコンアプリ DR Video Viewer とは.....	23
アプリをインストールする	24
アプリを起動する.....	25
動画を再生する.....	26
取付と配線	
取り付け・配線の前に	28
作業の順序	28
取り付け位置について	29
上下角度を調整する	30
仮止めする	31
カメラを貼り付ける	32
ドライブレコーダー本体を貼り付ける	34
配線のしかた	36
取り付け後の確認と調整	38
必要なとき	
故障かな!?	40
商標などについて	42
仕 様	43
保証とアフターサービス	44

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品 名	数量	番号	品 名	数量
①	 ドライブレコーダー本体	1	⑩	 カメラ中継ケーブル (リヤカメラ用) (2.1 m)	1
②	 ドライブレコーダー フロントカメラ (コード570 mm)	1	⑪	 束線バンド (200 mm)	30
③	 ドライブレコーダー リヤカメラ (コード570 mm)	1	⑫	 コードホルダー (150 mm)	1
④	 本体ブラケット	1	⑬	 ウレタンテープ (100 mm×200 mm)	2
⑤	 車両側ブラケット	1	⑭	 エッジ保護シート (100 mm×200 mm)	1
⑥	 両面テープ (本体用)	1	⑮	 クリーナー	1
⑦	 両面テープ (車両側ブラケット用)	1	⑯	 microSDHC メモリーカード 16 GB (本体に挿入済み)	1
⑧	 タッピンねじ (φ4×12)	4	⑰	 microSD-SDアダプター*1	1
⑨	 スピードナット	4	⑱	 ドライブレコーダーステッカー	1
⑩	 電源コード (1.9 m)	1	* 1 パソコンなどで使用することができます。 ナビゲーションには挿入しないでください。		
⑪	 カメラケーブル (フロントカメラ用) (3.3 m)	1	主な添付品		
⑫	 カメラケーブル (リヤカメラ用) (6.2 m)	1	取扱説明書 (本書)		

- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

 **本機はDC12V⊖アース車専用です**
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

カメラは、保安基準に従って取り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするとき

警告

 **アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止める**
アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

本体を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持つ
本体部や可動部を持ってはがそうとすると、本機が破損するおそれがあります。

 **視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**
交通事故やけがの原因となります。
*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近・ハザードスイッチなど

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
●傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
●車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
●ドライバーなどの先で押し込まないでください。

 **分解や改造をしない**
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
●コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
●アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付け

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付け場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。

取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



振動のある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付け

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告



ドライブレコーダー本体の温度を確認してから、 角度調整やmicroSDメモリーカードの抜き差しをする

高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。
水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

通電中のドライブレコーダー本体に長時間直接触れて使用しない

低温やけどの原因になることがあります。

⚠ 注意



本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

使用上のお願い

- 本機の操作は、接続したナビゲーションで行います。
- 必ずドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードを挿入してご使用ください。
 - ※付属のmicroSDHCメモリーカード、または本機で使用できるmicroSDメモリーカードをご使用ください。(P.12)
 - ※microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。
- 車のエンジンをかけた直後(ACC ON)やエンジンを切った直後(ACC OFF)は、本機が動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- 推奨動作温度(−20℃～+65℃)の範囲外で使用すると、正常に動作しなかったり、録画を停止したりする場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 夜間のナビゲーション画面の光、ダッシュボードに反射した太陽光などがガラスに反射し、映像に写り込む場合があります。
- LED式信号機は、目に見えない速さで点滅しています。そのため、映像には信号機が点滅または消灯しているように見える状態で撮影される場合があります。映像から信号機の状態が判別できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状態などから状況を判断してください。
- LED式信号機などが点滅または消灯しているように見える状態で記録されても、当社は一切の責任を負いません。
- 全ての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- microSDメモリーカードを挿入した状態で、本機を譲渡又は処分するときは、プライバシー保護のため、保存された記録データをすべて削除してください。
- 駐車録画をするように設定されている場合、本機は車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。
また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の駐車録画機能を使用したことによる、車のバッテリー上がりについては、補償できません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDメモリーカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

本機の操作は、接続したナビゲーションから行います。

- 本書では、パナソニック カーナビステーション CN-F1X10BLDと接続した場合を例に説明しています。
- タッチキー(タッチパネル上のタッチ操作のボタン)とハードキー(ナビゲーションユニット/ディスプレイユニットなどのボタン)を、下記のように書き分けています。

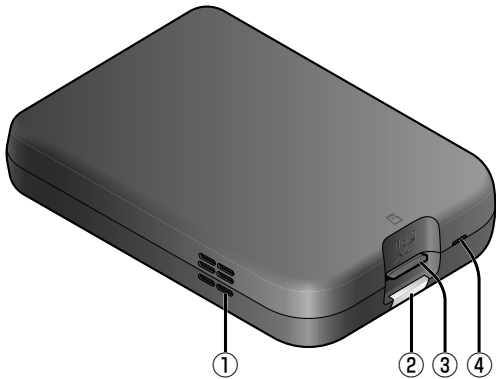
例) **ドライブレコーダー** : タッチキー

AUDIO MENU MAP : ハードキー

各部のなまえとはたらき

ドライブレコーダー本体

電源ボタンはありません。車のエンジンをかけると電源が入り、自動的に録画を開始します。

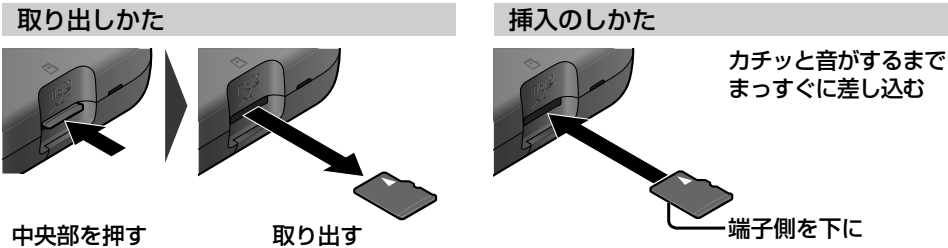


①	スピーカー	● 起動時や急加速・急減速情報を記録したときなどにブザーが鳴ります。
②	LED ランプ	● 本機の状態がLEDで案内されます。 ・点灯 (緑色) : 録画中 ・点滅 (緑色) : 録画停止中 ・点灯 (赤色) : microSD メモリーカードが未挿入または異常状態 ・点滅 (赤色) : 本機が異常状態 ・点灯 (橙色) : 取付調整が未調整または異常
③	microSDXC メモリーカード 挿入口	● 映像・音声を記録するmicroSDメモリーカードを挿入します。 ※ お買い上げ時は、付属のmicroSDHCメモリーカード (16 GB) が挿入されています。
④	マイク	● 動画録画時に、音声を録音します。

● 付属のカードアダプターは、パソコンなどで使用するときに必要なに応じてご使用ください。

microSD メモリーカードの出し入れ

必ず車のエンジンを切り (ACC OFF)、LED ランプが消灯した状態で出し入れをしてください。

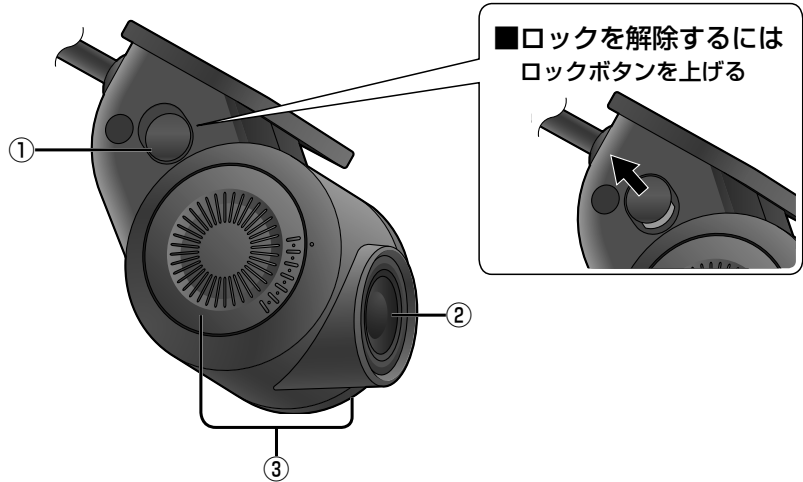


中央部を押す

取り出す

端子側を下に

フロントカメラ/リヤカメラ



①	ロックボタン	● 上下の角度を固定します。 ※ 調整するときは、必ずロックを解除し (ロックボタンを上げる)、調整を終えた後、必ず固定 (ロックボタンを下げる) してください。
②	レンズ	● 動画録画・静止画撮影に用います。 少ない光量でも録画・撮影ができます。
③	ダイヤル	● 上下の角度を調整するときに操作します。 調整範囲 : 0° ~ 60° (5° ステップ)

お願い
● カメラのレンズを手で触らないでください。

SDメモリーカードについて

使用できるSDメモリーカード

- microSDXCメモリーカード (Class10 以上・128 GB以下) *1*2
- microSDHCメモリーカード (Class10 以上・8 GB～32 GB以下) *1*3

*1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

*2 容量が200 GB以上のmicroSDXCメモリーカードは使用できません。

*3 容量4 GB以下のmicroSDメモリーカードは使用できません。

※本書では、上記のメモリーカードを「microSDメモリーカード」と表記しています。

お願い

- microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。
- 本機でmicroSDメモリーカードを初期化する以外の方法で初期化(フォーマット)しないでください。
- 本機で使用しているmicroSDメモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

お知らせ

- 規格に準拠したmicroSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。

取り扱いについて

- データの読み書き(録画や再生、初期化など)をしているときに、microSDメモリーカードを取り出さないでください。
- microSDメモリーカードの初期化中に車のエンジンを切らないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 市販のmicroSDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSDメモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリーカードにシールやラベルを貼り付けしないでください。
- microSDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクター*1などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。ナビゲーションの起動時などに、microSDメモリーカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化または市販のmicroSDメモリーカードに交換することをおすすめします。

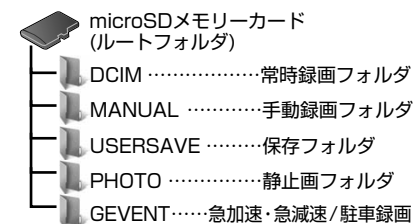
*1 長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域

記録データが保存される階層について

本機で録画された動画および撮影された静止画は、microSDメモリーカードに右記の階層で保存されます。

お願い

- microSDメモリーカード内のフォルダ・ファイルの名称は、変更しないでください。



記録できるファイル数について

手動録画/保存データ/静止画/急加速・急減速/駐車録画ファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が異なります。

常時録画ファイルは、これらのファイルを除いた空き領域に記録され、空き領域がなくなると古いファイルから順に自動削除されます。

他のファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が下記のとおり異なります。

容量	8 GB	16 GB (付属)	32 GB	64 GB	128 GB
ファイルの種類					
手動録画*1	15	30	60	120	240
保存データ*1	15	30	60	120	240
静止画*1	300	300	300	300	300
急加速・急減速/駐車録画*2	15	30	60	120	240

*1 ファイル数が上限に達すると、それ以上記録できません。

*2 ファイル数が上限に達すると、古いデータから順に自動削除されます。

最大録画時間について

録画できる時間やファイルサイズは、画質の設定によって異なります。また、撮影状況によっても変化します。

画 質	フレームレート	ファイルサイズ	最大録画時間*2
高画質	28 fps*1	約85 MB/1分	約180分
標準	14 fps	約48 MB/1分	約320分

*1 駐車録画の場合、14 fpsで記録されます。この場合のファイルサイズは約62 MB/1分です。

*2 付属のmicroSDHCメモリーカード(16 GB)を使用した場合

ドライブレコーダーの設定をする

1 ナビゲーションの [MENU] を押す

[太字: お買い上げ時の設定]

2 情報・設定を選ぶ

● ツートップメニュー



3 情報を選ぶ

● 情報・設定メニュー



4 ドライブレコーダーを選ぶ

● 情報メニュー



5 設定を選ぶ

● 録画を停止します。

● ドライブレコーダー画面



6 ドライブレコーダー設定画面から各項目を設定する(右記)



● [上] [下] で設定画面が切り替わります。

項 目	設定内容/操作
画質	「高画質」: 高画質で記録する 「標準」: 標準の画質で記録する
音声録音	「する」: 録画中、音声を録音する 「しない」: 録画中、音声を録音しない
動画情報表示	記録ファイル再生中の動画情報表示について、「する/しない」を設定します。 ● 選ぶごとに、ON (する)/OFF (しない) が切り換わります。
急加速・急減速	急加速・急減速した場合で、動画情報を表示「する」/「しない」
駐車録画	駐車録画した地点で、動画情報を表示「する」/「しない」
事故多発地点	事故多発地点で、動画情報を表示「する」/「しない」
合流地点	合流地点で、動画情報を表示「する」/「しない」
急カーブ	急カーブで、動画情報を表示「する」/「しない」
急加速・急減速の感度	「-」/「+」で、急加速・急減速の測定感度を調整する [調整範囲: 1 (低感度) ~ 3 ~ 5 (高感度)]
急加速・急減速の感知音	「する」: 急加速・急減速を記録すると、ブザーを鳴らす 「しない」: 急加速・急減速を記録しても、ブザーを鳴らさない
起動音	「する」: 本機の電源が入ると、ブザーを鳴らす 「しない」: 本機の電源が入っても、ブザーを鳴らさない
取付調整	「調整する」: 本機の加速度センサーを最適化する
SDカードの初期化	「初期化する」: 本機で使用している microSD メモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にする (メモリーカード内のすべてのファイルが削除されます。) ● microSD メモリーカードを交換したときなどに行ってください。 ● 付属の microSDHC メモリーカードを初期化すると、収録されているパソコンアプリ「DR Video Viewer」のインストーラーも削除されます。
設定初期化	「初期化する」: 本機の設定をお買い上げ時の状態に戻す (録画・撮影された記録ファイルは削除されません。)
駐車録画	「する」: 駐車中に振動を検知すると、自動で録画する 「しない」: 駐車中、録画しない
駐車録画のお知らせ	「する」: ACC ON 後に駐車中録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする 「しない」: メッセージ表示をしない
駐車録画の感度	「-」/「+」で、振動を検知する感度を調整する [調整範囲: 1 (低感度) ~ 3 ~ 5 (高感度)]
駐車録画の時間	駐車録画の記録時間を設定する [調整範囲: 10 秒/30 秒/1 分]
駐車録画の無効時間	駐車録画モードになるまでの時間を設定する [調整範囲: 1 分/3 分/5 分] ● ACC OFF 後、駐車録画モードになるまでは、振動を検知しても録画は開始されません。
ドライブレコーダー警告音量	本機の音量を設定する [調整範囲: 1 ~ 3 ~ 5]
ドライブレコーダータイプ	「前のみ」: 前方にのみカメラがある場合に選択する 「前後」: 前後にカメラがある場合に選択する
リバース連動	「する」: 車のシフトレバーを「R (リバース)」に入れると、本機のリヤカメラの映像に切り換える 「しない」: 車のシフトレバーを「R (リバース)」に入れたとしても、本機のリヤカメラの映像に切り換えない ● リバース後方ビュー (P.22) を使用する場合のみ「する」にしてください。

お知らせ

- 地図画面に、手動で動画の録画や静止画の撮影をするためのタッチキー (ダイレクトボタン) を表示させることもできます。 (P.18)

使いかた

ドライブレコーダーの設定をする

常時録画(動画)

本機の電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存します。

常時録画を開始すると、ドライブレコーダー本体のLEDランプが緑色に点灯します。

microSDメモリーカードの容量がなくなると、常時録画ファイルが古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

- 手動録画した記録ファイル(P.18)、保存フォルダに移動した記録ファイル(P.21)は、自動削除されません。
- 常時録画で記録された、急加速・急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSDメモリーカードの空き容量がない状態で、新たに急加速・急減速情報のある映像を記録した場合は、古い急加速・急減速情報のある記録ファイルが自動削除される場合があります。
- ドライブレコーダータイプ(P.14)が「前後」に設定されている場合は、後方の映像も録画されます。

常時録画中に急加速・急減速を検知すると

急加速・急減速の検知の前後に録画された記録ファイルが、急加速・急減速情報のあるファイルとして記録されます。

- 通常は自動削除されませんが、ファイル数が上限に達すると古い順に自動削除されます。(P.13)



お知らせ

- 本機の動作状態に応じて、ナビゲーション画面の情報バーに以下のマークが表示されます。



📷: 常時録画中(緑色)

📷: 手動録画中(赤色)

📷: 録画停止中

駐車録画(動画)

駐車中(ACC OFF中)に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

- ドライブレコーダータイプ(P.14)が「前後」に設定されている場合は、後方の映像も録画されます。

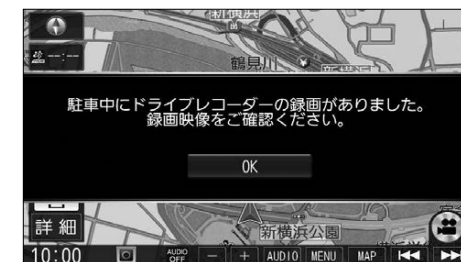
- 駐車録画を「する」に設定してください。(P.14)

お知らせ

- 「駐車録画の無効時間」(P.14)が短い場合、車のエンジンを切ってから(ACC OFF)降車、荷物の出し入れなどを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。(「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。)

■ 駐車中に駐車録画があったときは

「駐車録画のお知らせ」(P.14)が「する」に設定されていると、車のエンジンをかけたとき(ACC ON)、駐車録画があったことをお知らせする画面が表示されますので、録画内容をご確認ください。



使
い
か
た

常
時
録
画
(
動
画
)
/
駐
車
録
画
(
動
画
)

手動で動画を録画・静止画を撮影する

ナビゲーションの「ダイレクトボタン」の設定を変更して、地図画面に本機の映像を手動で動画として録画／静止画として撮影するタッチキーを表示できます。

●ナビゲーションのランチャーメニューにダイレクトボタンの機能を割り当てることもできます。

●ドライブレコーダータイプ(P.14)が「前後」に設定されている場合は、後方の映像も録画されます。

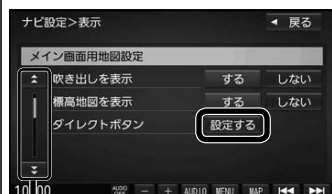
ダイレクトボタンを設定する

1 情報・設定メニュー(P.14)から
ナビ設定を選ぶ

2 **表示**を選ぶ



3 **ダイレクトボタンの設定する**を選ぶ



スクロールして項目を表示させる

4 **ダイレクトボタンに割り当てる機能**を選ぶ



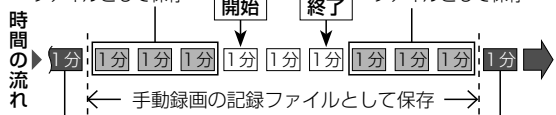
- ドライブレコーダー動画録画**
動画録画タッチキーを表示
- ドライブレコーダー静止画撮影**
静止画撮影タッチキーを表示
- ドライブレコーダーリアカメラ**
リアカメラタッチキーを表示 (P.22)

- 表示しない**
ダイレクトボタンは非表示

手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルを手動録画の記録ファイルに置き換えます。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。

- 開始直前の3ファイル*1から手動録画の記録ファイルとして保存
- 終了後から3ファイル*2まで手動録画の記録ファイルとして保存



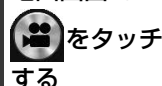
1分ごとにファイルを分けて常時録画 常時録画に戻る

- *1ドライブレコーダータイプが「前のみ」のときは、開始直前の1ファイルから保存
- *2ドライブレコーダータイプが「前のみ」のときは、終了後から1ファイルまで保存

準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(左記)

地図画面で



- 動画の録画を開始します。

2分後に自動的に録画を停止します。

手動で録画を終了させるには

地図画面で



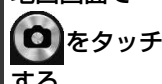
- 動画の録画を停止します。

手動で静止画を撮影する

準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(左記)

地図画面で



- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

動画・静止画を再生する

- 走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

1 ドライブレコーダー画面(P.14)から**再生**を選ぶ

- 録画を停止します。

2 ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、**再生**を選ぶ
動画／静止画を切り換える



- 全表示**：
すべての動画ファイル(常時録画・
駐車録画・手動録画)のリストを表示
- 手動録画**：
手動録画の動画ファイルのみのリスト
を表示

ファイルリスト



「保存フォルダ」(P.21)に保存された
動画ファイルのリストを表示

記録された動画情報をマークで表示

- 手動録画された**
- P**：駐車録画された
- 急加速・急減速情報がある**
- 事故多発地点情報がある**
- 合流地点情報がある**
- 急カーブ情報がある**

記録年月日・時刻

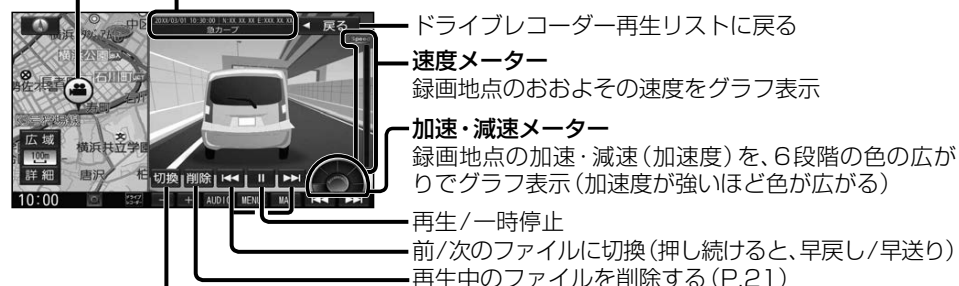
↑ ↓ : ページごとに切換
+1時間 -1時間 : 1時間ごとに切換

選んだファイルの再生を開始します。(P.20)

動画・静止画を再生する

動画再生画面

録画した地点 録画日時/位置情報/動画情報



動画切換

切換をタッチすることにより切り換わります。

フロント → リヤ → フロント+リヤ



静止画再生画面

撮影した地点 撮影日時/位置情報



静止画切換

切換をタッチすることにより切り換わります。

フロント → リヤ → フロント+リヤ



お知らせ

●DR-Video Viewerの動画再生画面から保存(P.27)した静止画は、再生できません。

ファイルを移動・削除する

ファイルを保存フォルダへ移動する

保存フォルダに保存されたファイルは、自動削除されません。
残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.19)から
移動させたいファイルを選び、
保存を選ぶ

2 はい▶OKを選ぶ

●選んだファイルが保存フォルダ(P.13)へ
移動されます。



ファイルを削除する

再生中のファイルを削除する

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.19)
から削除したいファイルを選び、
再生を選ぶ



2 動画再生画面/静止画再生画面(P.20)
から**削除**を選ぶ



3 はいを選ぶ

●選んだファイルが削除されます。

お知らせ

●ファイルを削除すると、動画/静止画は前後両方とも削除されます。
どちらか一方のみを削除することはできません。

フォルダ内のファイルを全て削除する

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.19)
から削除したいフォルダのリストを
表示させ、**全削除**を選ぶ



2 はいを選ぶ

●選んだフォルダ内の全ファイルが削除
されます。

使いかた

動画・静止画を再生する/ファイルを移動・削除する

リヤカメラで後方を確認する(ワンタッチ後方ビュー)

本機のリヤカメラの映像をナビゲーションのディスプレイに表示し、後方を確認できます。

利用時の留意点

- カメラは、運転者の注意義務を軽減するものではありません。運転の補助としてお使いください。
- 周囲の安全は、必ず目視で確認してください。
 - ・カメラには死角(見えない部分)があります。
 - ・車両の形状やリヤカメラの取付位置によっては、ナンバープレート周辺の死角が大きくなる場合があります。
 - ・カメラの映像は実際の形状とは異なって表示されます。

ダイレクトボタンでリヤカメラの映像を表示する(ワンタッチ後方ビュー)

準備

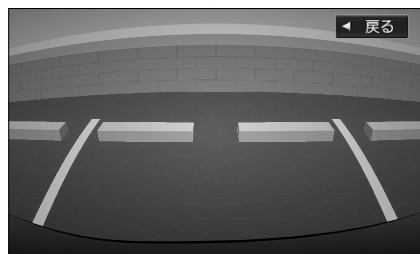
- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー リヤカメラ」に設定してください。(P.18)

地図画面で

をタッチする



リヤカメラの映像が表示されます



元の画面に戻すには

- MAP**を押す
または、画面をタッチする
- 地図画面に戻ります。

シフトレバーでリヤカメラの映像を表示する(リバース後方ビュー)

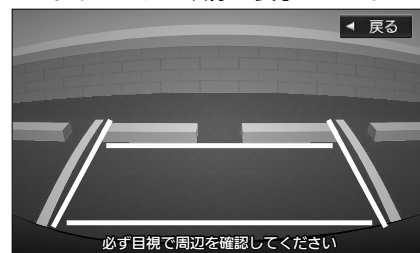
準備

- 「リバース連動」を「する」に設定してください。(P.14)

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- メッセージが表示された場合は、**はい**を選んでください。

リヤカメラの映像が表示されます



元の画面に戻すには

- 車のシフトレバーを「R(リバース)」以外に入れる
- 元の画面に戻ります。

お知らせ

- 車のエンジンをかけた直後にシフトレバーを「R(リバース)」に入れると、リヤカメラの映像の表示に時間がかかる場合があります。映像が表示されるまでしばらくお待ちください。
- 下記の画面を表示している場合は、シフトレバーを「R(リバース)」に入れても、リバース後方ビューの映像を表示できません。
 - ・ドライブレコーダー画面・ドライブレコーダー設定画面
 - ・カメラモニター画面・ドライブレコーダー再生画面

パソコンアプリDR Video Viewerとは

本機で録画した動画は、付属のパソコンアプリDR Video Viewerを使ってパソコンで再生できます。

DR Video Viewerのインストーラーは、付属のmicroSDHCメモリーカードに収録されています。パソコンにDR Video Viewerをインストールしてお使いください。(P.24)

- DR Video Viewerのインストーラーは、万が一に備えてパソコンにバックアップをとっておくことをおすすめします。DR Video Viewerフォルダと、その中に格納されているすべてのファイルおよびフォルダをバックアップしてください。
- 付属のmicroSDメモリーカードを初期化すると、収録されているDR Video Viewerのインストーラーも消去されます。

DR Video Viewerのインストーラーは、Webサイトからもダウンロードできます。付属のmicroSDHCメモリーカードからインストーラーを削除した場合は、Webサイトからインストーラーをダウンロードしてください。

<http://car.panasonic.jp/cgi-bin/navidata/index.cgi>

- DR Video Viewerの機能やデザインは、バージョンアップによって変更される場合があります。

推奨環境

- Microsoft® Windows® 8.1/10のいずれかを搭載していること
- 4 GB以上のメモリを搭載していること。
- 本機で動画の録画に使用したmicroSDメモリーカードを読み込めること
※必要に応じて、本機に付属のカードアダプターをご使用ください。

お願い

- microSDメモリーカードをパソコンで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

お知らせ

- 本書ではバージョン1.1.X.XのDR Video Viewerについて説明しています。
- 本機で撮影した静止画は、DR Video Viewerでは再生できません。
OS標準の静止画ビューアーなどを使用して再生してください。

アプリをインストールする

パソコン画面はWindows® 10の画面を例に説明しています。

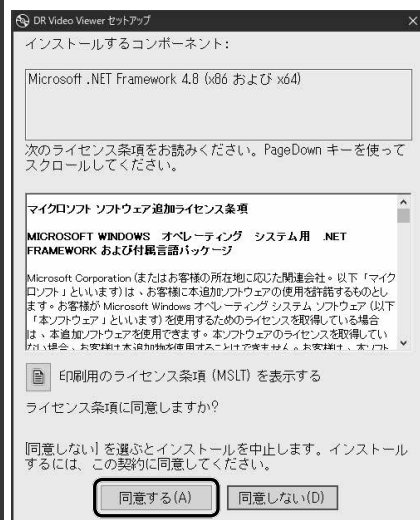
1 付属のmicroSDHCメモリーカードをドライブレコーダーから取り出し、パソコンに挿入する

- microSDメモリーカードの取り出しかた→P.10

2 microSDHCメモリーカード内の「DR Video Viewer」フォルダから、「setup.exe」(右記)をダブルクリックする



3 .NET Framework 4.8のライセンス条項をお読みになり、「同意する」をクリックする



- .NET Framework 4.8のインストールを開始します。
- ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」を選んでください。
- 「同意しない」を選ぶと、インストールを終了します。

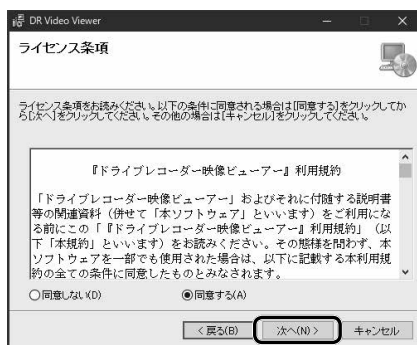
4 次へ(N)>をクリックする

5 インストール先を確認し、次へ(N)>をクリックする

- インストール先を変更する場合は、「参照(R)...」を選び、インストール先を変更してください。



6 DR Video Viewerのライセンス条項をお読みになり、「同意する」をチェックのうえ、次へ(N)>をクリックする



- 「同意しない」をチェックすると、インストールを終了します。

7 次へ(N)>をクリックする

- インストールを開始します。
- ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」を選んでください。

8 閉じる(C)をクリックする

- インストールが完了します。
- デスクトップにショートカットが作られます。

お願い

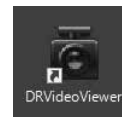
- Windowsが最新でないと、正しくインストールされない場合があります。そのときは、Windows UpdateによりWindowsを最新の状態に更新してください。

お知らせ

- DR Video Viewerのインストーラーは、Webサイトからもダウンロードできます。付属のmicroSDHCメモリーカードからインストーラーを削除した場合は、Webサイトからインストーラーをダウンロードしてください。
<http://car.panasonic.jp/cgi-bin/navidata/index.cgi>

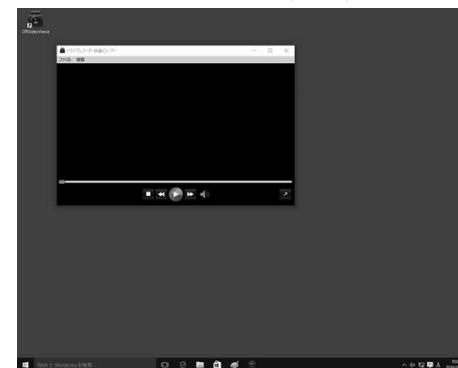
アプリを起動する

DR Video Viewerのアイコン(右記)をダブルクリックする



- 初めてアプリを起動したときは、使用許諾を確認する画面が表示されます。内容をよくお読みになり、「OK」をクリックしてください。

DR Video Viewer動画再生画面が表示されます。(P.27)



動画を再生する

1 DR Video Viewer動画再生画面で「ファイル」メニューを選ぶ

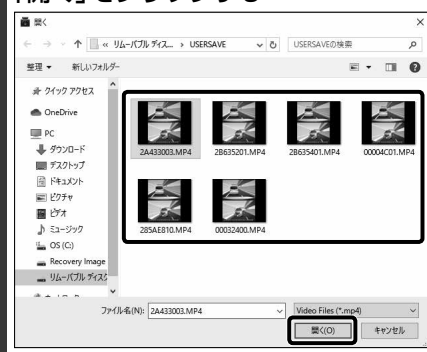


2 「開く」をクリックする



- 「ファイル」メニューから「終了」をクリックすると、DR Video Viewerが終了します。

3 動画ファイルを選び、「開く」をクリックする



選んだ動画ファイルが、
DR Video Viewer動画再生画面(P.27)で
再生されます。

情報エリア

- 再生ファイル名、撮影日時、撮影場所、撮影種別が表示されます。

動画再生エリア

動画再生時間を表示

- 左右にスライドすると、再生位置を移動できます。

動画切替

- フロント・リヤの動画が録画されている場合に切り換わります。
- 切替をクリックするごとに、画面が切り換わります。

フロント+リヤ



フロント



リヤ



再生中の動画の種類を表示

F R : フロント+リヤ

F : フロント

R : リヤ

DR Video Viewer 動画再生画面



再生時間

停止

再生/一時停止

前/次のファイルに切替 (押し続けると、早戻し/早送り)

音量調整

- 上下にスライドすると、音量を調整できます。

左右反転

- クリックするごとに左右が反転します。



映像拡大

- 上下にスライドすると、映像を拡大できます。
- 拡大時、映像部をドラッグすると、表示場所を変えられます。



明るさ・コントラスト調整

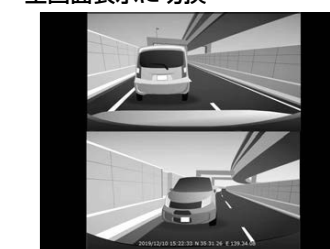
- 上下にスライドして、明るさとコントラストを調整できます。



●コントラスト調整

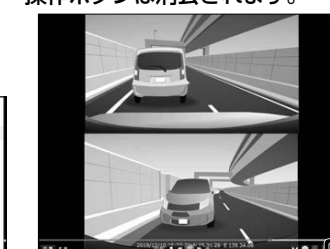
●明るさ調整

全画面表示に切替



画面下部にマウスポインターを
移動させると、操作ボタンが表示
されます。

一定の時間何も操作しないと、
操作ボタンは消去されます。



- ☒をクリックすると、ウィンドウ表示に切り換わります。

静止画として保存

- クリックした位置の映像を、静止画として保存できます。

保存するフォルダを選び、
保存(S)をクリックする



取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。(P.3)
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

- カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、結束バンドや市販のテープなどで要所を固定してください。やむを得ず、車体のフレームなど鋭利な金属部の近くにコードを引き回す場合は、付属のエッジ保護シートでコードを保護してください。
- 各種アンテナ(ラジオ、GPS)、レーダー探知機など、各種電子機器の近くには取り付けないでください。
- コードは、ナビゲーションの各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)とは別々に配線してください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、ナビゲーションの映像・音声にノイズが入る原因となります。

作業の順序

1 バッテリーの⊖端子を外す



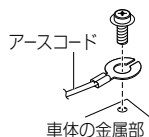
2 カメラの取付位置の見当を付け、上下角度を調整する (P.30)

3 各種コード/ケーブルを接続する(仮接続) (P.36)

- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

- 必ずアースコードを最初に接続してください。
- ショート事故防止のため、電源コネクターへの接続は、必ず他の配線を済ませてから最後に行ってください。



4 カメラを仮止めする (P.31)

5 カメラおよびドライブレコーダー本体を貼り付ける (P.32～35)

6 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、寸法が合った工具を使用し、しっかりと締め付けて固定してください。

7 車のエンジンをかけ、取り付け後の確認と調整をする (P.38)

※作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

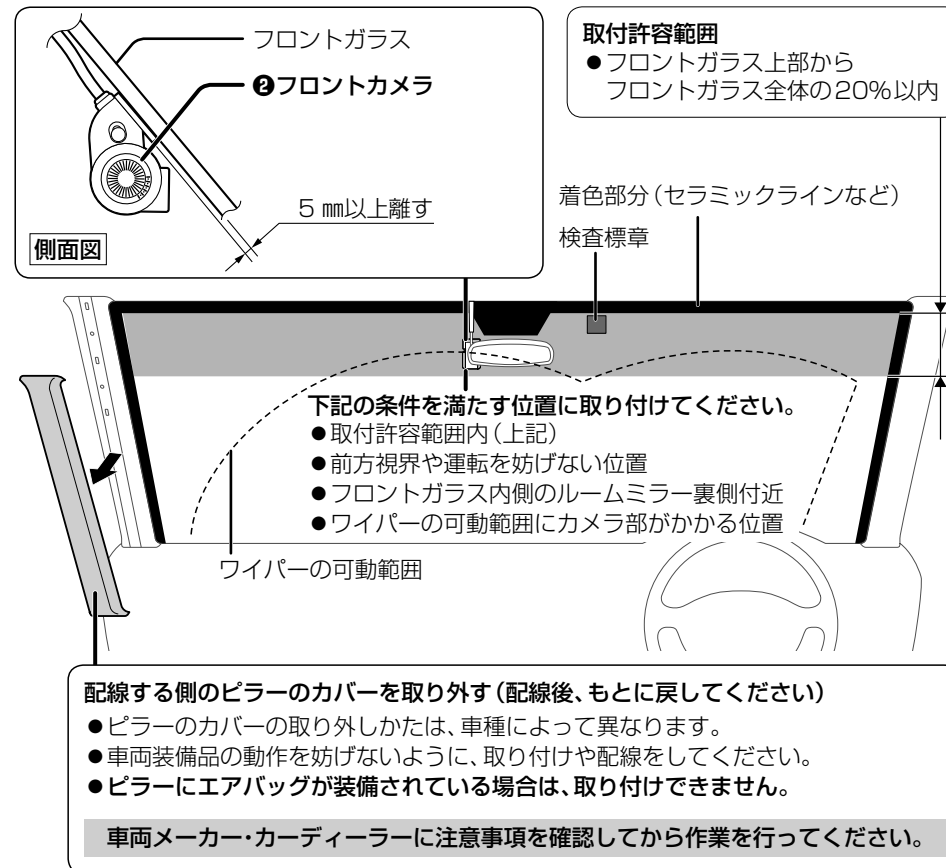
取り付け位置について

フロントカメラの取り付け位置

■ 国土交通省の定める保安基準*¹に適合させるため、フロントカメラは、必ず取付許容範囲内(下図の■部)に取り付けてください。

* 1 道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)

最新の保安基準は、国土交通省のWeb サイトをご確認ください。



リヤカメラの取り付け位置

下記の条件を満たす位置に取り付けてください。

- 後方視界を妨げない位置
- リヤガラス内側の上部中央付近
- ワイパーの可動範囲にカメラ部がかかる位置

下記のような車両には取り付けられません。

- リヤガラスが可動する車両
- バックドアが上方向以外に開く車両(スライド式・横開きなど)

上下角度を調整する

1 ロックボタンを上げる

- ロックが解除されます。



2 取付位置の見当を付け、フロントカメラ/リヤカメラをあてがい、両側面を持って、上下角度を調整する

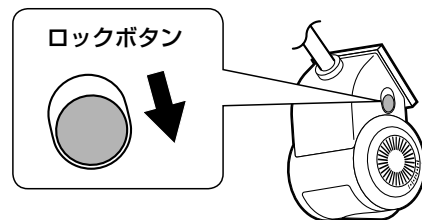
- 裏紙はまだはがさないでください。

■ 調整範囲: 0° ~ 60° (5° ステップ)



3 ロックボタンを下げ、ロックする

- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。



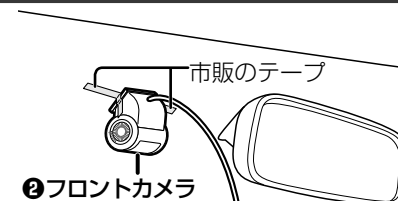
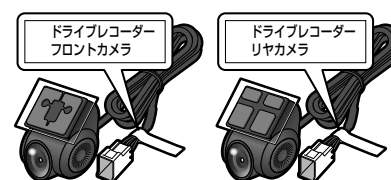
仮止めする

フロントカメラを例に説明しています。リヤカメラも同様に仮止めしてください。

1 本機とナビゲーションを仮接続する (配線のしかた→P.36)

2 カメラを市販のテープなどで仮止めする

- 裏紙はまだはがさないでください。
- カメラのタグを良くご覧になり、フロントカメラ/リヤカメラを見分けてください



3 バッテリーの⊖端子をもとに戻し、車のエンジンをかける (ACC ON)

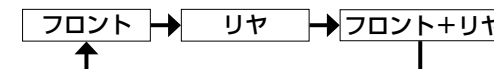
4 ドライブレコーダー画面 (P.14) からカメラモニターを選ぶ

- フロントカメラの映像が表示されます。
- カメラの映像が表示されない場合は、拡張ユニット情報画面からドライブレコーダーの接続状態を確認してください。(P.38)



5 映像を見ながら、カメラの貼付位置・上下角度を微調整する (調整のしかた→P.30)

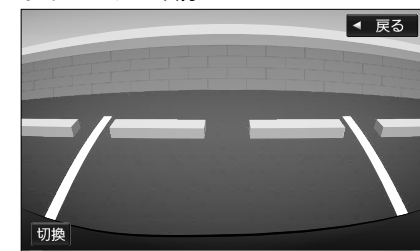
- 映像の切り換えかた: **切換**を選ぶ
選ぶたびに、映像が右記のように切り換わります。



フロントカメラの映像



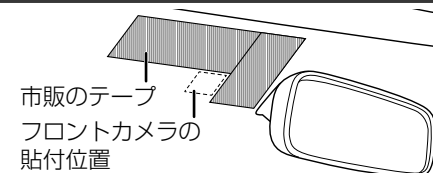
リヤカメラの映像



●微調整しても映像が適切な角度にならない場合は、手順2に戻り、仮止めからやり直してください。

6 前方の貼付位置に市販のテープなどで印をつける

7 車のエンジンを切り (ACC OFF)、バッテリーの⊖端子を外す



カメラを貼り付ける

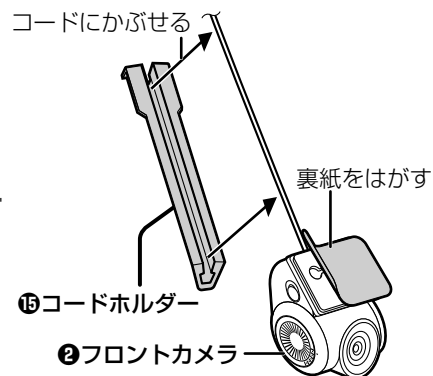
貼り付ける前に

- 性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。
 - ・検査標章などと重なったり、映らないように取り付けてください。
 - ・ワイパーの可動範囲内が映るように取り付けてください。雨天などのとき、鮮明に録画できない場合があります。
 - ・フロントガラスの着色部分(セラミックラインなど)が映らないように取り付けてください。
 - ・遮光フィルムが貼り付けられているガラスには、取り付けられません。
 - ・指定の位置や寸法内に取り付けられない場合や、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、指定の位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
 - ・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
 - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
 - ・貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、放置してください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

フロントカメラを貼り付ける

1 コードホルダーをコードにかぶせる

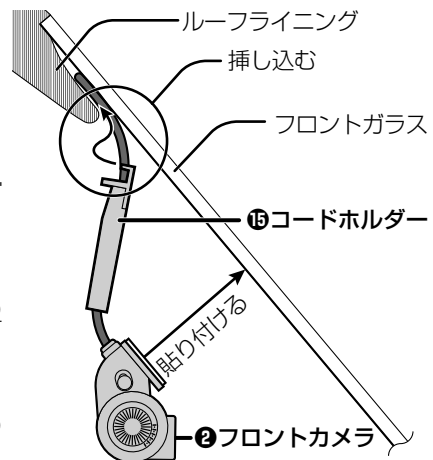
- コードホルダーが長い場合は、適切な長さに切断して使用してください。



2 裏紙をはがす

- 粘着テープの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。

3 コードホルダーをルーフライニングの端に挿し込む



4 フロントガラスにしっかりと貼り付ける

- しっかりと定着させるため、フロントカメラをフロントガラスに十分に押しつけてください。
- 押しつける際、本体部を押さずに、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。
- 貼り付けたあと、位置決めに使った市販のテープをはがしてください。

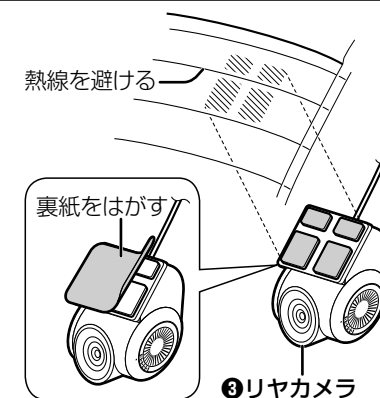
リヤカメラを貼り付ける

1 裏紙をはがす

- 粘着テープの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。

2 リアガラスにしっかりと貼り付ける

- 熱線避けて貼り付けてください。
- しっかりと定着させるため、リヤカメラをリアガラスに十分に押しつけてください。
- 押しつける際、本体部を押さずに、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。
- 貼り付けたあと、位置決めに使った市販のテープをはがしてください。



コードを引き回す

1 コードを引き回す

- 必要に応じて付属の結束バンドや市販のテープなどでコードを固定してください。
- 他のコード類が配線されている場合はできるだけ離し、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。
- ルーフライニングに押し込んでもコードが外に出る場合は、コードにウレタンテープを巻き付けて、ルーフライニングから出ないようにしてください。

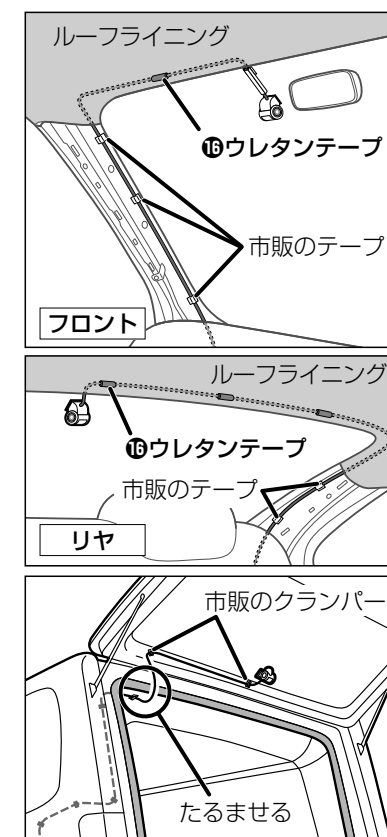


電源コードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーフライニングの端から無理に押し込んだりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。

■ハッチバックの車に取り付け場合

- 車のドアを完全に開ききった状態で、車のパッキンに挟まないよう、リヤカメラのコードを取り付けてください。
- リヤカメラのコードは、ドアの開閉部分をたるませて、市販のクランプで取り付けてください。

2 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

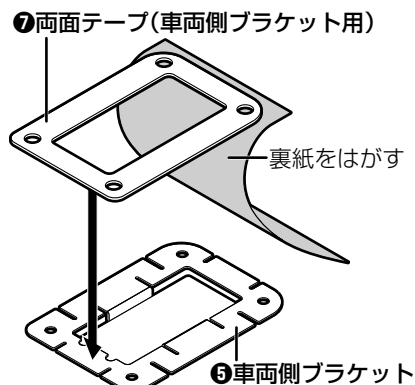


ドライブレコーダー本体を貼り付ける

貼り付ける前に

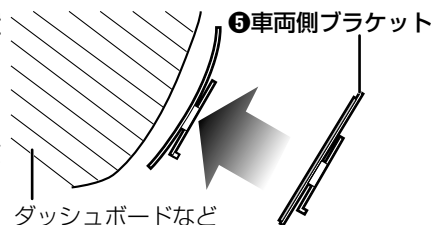
- 本機のLEDランプが確認でき、microSDメモリーカードが出し入れできる位置に取り付けてください。
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、指定の位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
 - ・設置面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。
 - ・接着不良などによるはがれの原因となります。
 - ・貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、放置してください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- 両面テープの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。
- ドライブレコーダー本体は、グローブボックスやコンソールボックスなどの可動部には取り付けしないでください。振動により本機の加速度センサーが誤作動するおそれがあります。

1 両面テープ(車両側ブラケット用)を車両側ブラケットに貼り付ける



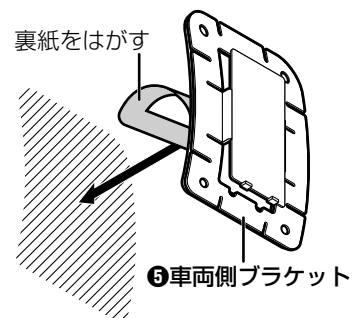
2 ドライブレコーダー本体を取り付ける位置に車両側ブラケットを合わせ、タッピンねじを止める位置に印をつける

- 取り付け位置が平面でない場合は、形状に合わせて車両側ブラケットを変形させてください。

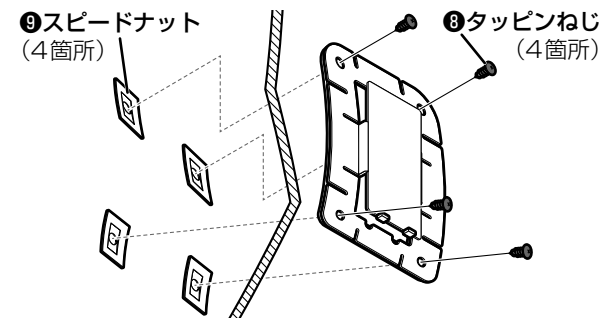


3 ブラケットを取り付ける場所の内装パネルを取り外す

4 車両側ブラケットの裏紙をはがし、穴の位置が合うように貼り付ける

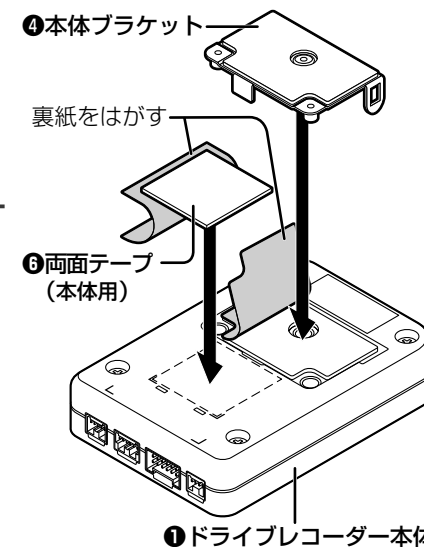


5 スピードナットとタッピンねじで、車両側ブラケットを固定する



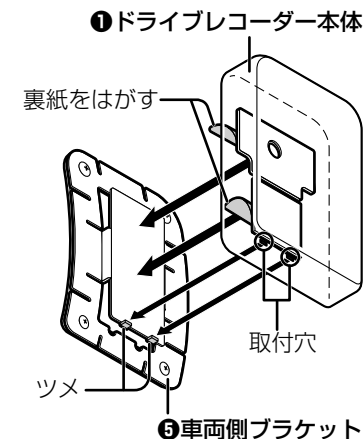
6 内装パネルを元に戻す

7 ドライブレコーダー本体と両面テープ(本体用)の裏紙をはがす



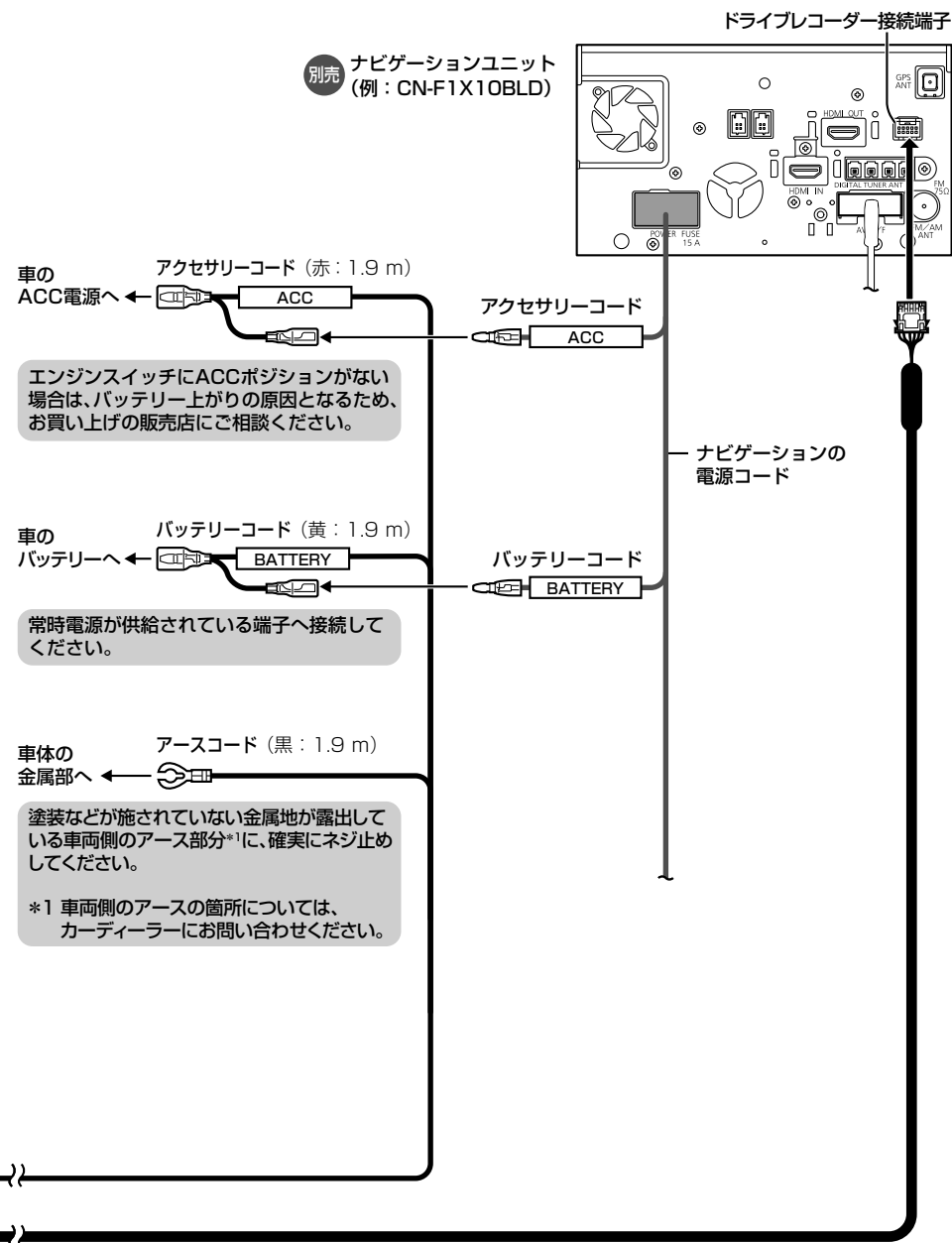
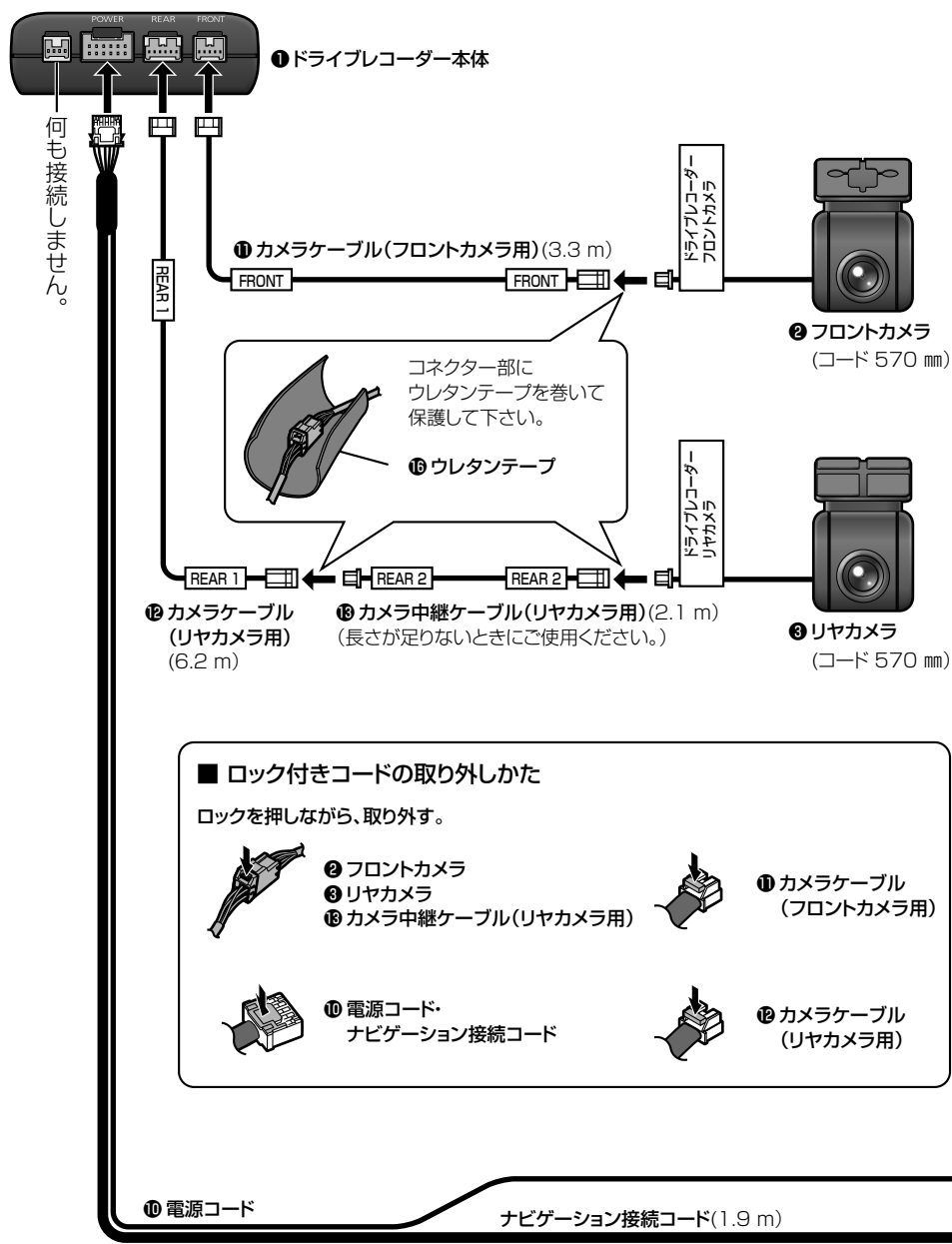
8 本体ブラケットと両面テープ(本体用)をドライブレコーダー本体に貼り付ける

9 ドライブレコーダー本体に貼り付けた本体ブラケットと両面テープ(本体用)の裏紙をはがす



10 ドライブレコーダー本体の取付穴を車両側ブラケットのツメにはめ込む

配線のしかた



取付と配線

配線のしかた

取り付け後の確認と調整

カメラの取り付けを確認する

- 1 情報メニュー (P.14) から
拡張ユニット情報 を選ぶ



- 2 拡張ユニット情報画面から
ドライブレコーダーがON表示に
なっていることを確認する
 - ドライブレコーダーがON表示にならない場合は、取付・配線を確認してください。



カメラの映像を確認する

- 1 ドライブレコーダー画面 (P.14) から
カメラモニター を選ぶ
 - フロントカメラの映像が表示されます。



- 2 映像が正しく映し出されていることを確認する

- 映像の切り換えかた：**切換** を選ぶ
選ぶたびに、映像が右記のように切り換わります。

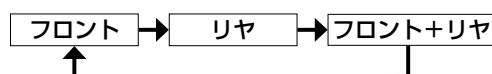
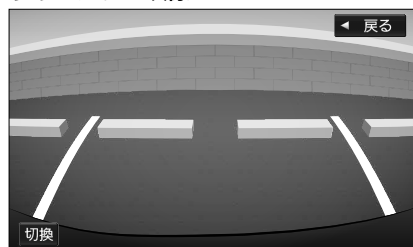
フロントカメラの映像



ダッシュボード ボンネット

- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

リヤカメラの映像



加速度センサーを最適化する

取り付け後、初めてお使いになる前や、走行中、急加速・急減速をお知らせするブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける(ピピピ…短く8回)場合は、加速度センサーの最適化を正しく行ってください。

最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われないおそれがあります。

※必ずドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードが挿入された状態で行ってください。

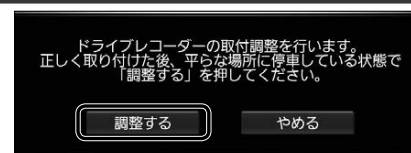
- 1 平らな場所に停車する

- 2 ドライブレコーダー設定画面 (P.14) から
調整する を選ぶ



- 3 **調整する** を選ぶ

- 最適化を開始します。
- 最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない (ACC OFF にしない) でください。



- 4 メッセージが表示されたら、
OK を選ぶ



- 5 現在地画面を表示させ、本機の動作状態が「常時録画中」であることを確認する (P.16)

ドライブレコーダーステッカーを貼り付ける

取付後の確認と調整が終わったら、車両後部に付属のドライブレコーダーステッカーを貼り付けてください。

貼り付ける前に

- 貼り付ける前に貼付面の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。(貼りなおしできません)
 - ・貼付面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。はがれの原因となります。
 - ・貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、放置してください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- ドライブレコーダーステッカーの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。
- リアガラスに貼り付ける場合は、ワイパーの可動範囲外に貼り付けてください。



貼付例

修理を依頼される前に、まずは次の内容をご確認ください。
処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

内 容		ページ
動作	本機の電源が入らない(LEDランプが点灯しない)	
	車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	—
	正しく配線されていない。 ● 配線を確認してください。	36
	本機やmicroSDメモリーカードが温くなる	
	長時間使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	走行中、頻繁に急加減速を知らせるブザーが鳴る／ブザーが鳴り続ける(ピピピ…短く8回)	
	本機の加速度センサーが最適化されていない。 ● 加速度センサーを最適化してください。	39
	走行中、路面上の段差を越えた際に、ブザーが鳴る	
	路面の段差を越えたときなどの衝撃を急加速・急減速として感知し、感知音(ブザー)を鳴らすことがあります。(故障ではありません) ● 「急加速・急減速の感度」を低感度に調整すると、段差の衝撃を急加速・急減速として感知しなくなる場合があります。	14
	● 感知音(ブザー)が頻繁に鳴るときは「急加速・急減速の感知音」を「しない」に設定すると、急加速・急減速を感知しても感知音(ブザー)を鳴らさなくなります。	14
	ドライブレコーダー本体の加速度センサーが最適化されない	
	ドライブレコーダー本体からmicroSDメモリーカードが抜かれた状態で加速度センサーを最適化しようとした。 ● microSDメモリーカードが抜かれた状態では最適化できません。 平坦な場所に停車し、ドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードを入れて加速度センサーを最適化してください。	10、39
	記録ファイルが消えている	
	常時録画の場合、古い記録ファイルから順に自動的に削除されるため、連続して記録されない場合があります。 ● 残したい記録ファイルは、保存フォルダへ移動してください。	21
	録画できない、または録画した映像が正しく表示されない	
	ドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードが挿入されていない。 ● ドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードを挿入してください。	10
	記録できるファイル数の上限に達している。(録画できない場合) ● 手動録画の記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除してください。(削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。)	21
	microSDメモリーカードを初期化していない、または本機以外(パソコンなど)で初期化した。 ● 本機で初期化してください。	14
	microSDメモリーカードを長期間使用している。 ● microSDメモリーカードには寿命があります。 新しいmicroSDメモリーカードに交換してください。	—
	録画や再生、初期化中にmicroSDメモリーカードを取り出した。 ● 再度本機で初期化してください。 それでも正しく動作しないときは、microSDメモリーカードが損傷している場合があります。新しいmicroSDメモリーカードに交換してください。	14

内 容		ページ
動作	記録できる常時録画ファイルの数が少ない	
	手動録画/保存データ/静止画/急加速・急減速/駐車録画の容量が大きい(ファイル数が多い)。 ● 手動録画・保存データ・静止画・急加速/急減速/駐車録画のファイルをパソコンに移し、microSDメモリーカードから消去すると、常時録画できる容量が増えます。	21
	リヤカメラの映像が録画できない	
	ドライブレコーダータイプが「前のみ」に設定されている。 ● ドライブレコーダータイプを「前後」に設定しなおしてください。	14
	車のエンジンをかけたときに (ACC ON)、駐車録画のお知らせが表示されたが、映像に振動の原因となるものが映っていなかった	
	振動の原因が、ドライブレコーダーのカメラで映せる範囲外だった。 ● 車両の周囲をご確認ください。	—
	振動の原因が、すぐに車から離れた。 ● 振動を検知してから撮影するため、振動発生の瞬間は撮影できません。	—
	ナビゲーションから、取付調整を促すメッセージが案内される	
	本機の加速度センサーが最適化されていない。 ● 加速度センサーを最適化してください。	39
	映像が白っぽい、映像に白線(光の線)が出る	
映像	太陽光を直接映したり、強い光(ヘッドライトなど)を映している。 ● 映像が見えにくくなったり、光源の周囲に明るい線が現れることがあります。 故障ではありません。	—
	映像が見えにくい	
	暗いところを映したり、部分的に明るい光を映している。 ● 故障ではありません。	—
	カメラのレンズ、車のガラスが汚れている。 ● 汚れを拭いてください。	—
	カメラのレンズ、車のガラスが結露している。 ● ヒーターなどで車内を適温に保ち、結露が取り除かれるまでしばらくお待ちください。	—
	本機が異常に高温になっている。 ● 高温時は、機器の保護のため画像が暗くなります。温度が下がるとともに戻ります。	—

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。
故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

商標などについて

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報をAVC規格に準拠して(AVCビデオ)を記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
- 詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

仕 様

電源	
電源電圧	DC12 V マイナスアース
消費電流	500 mA
消費電力	6.0 W
ドライブレコーダー本体	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	70 mm × 22 mm × 100 mm
質量	約124 g
推奨動作温度	−20℃～+65℃
記録メディア	microSDHCメモリーカード(Class10以上の8 GB～32 GB) microSDXCメモリーカード(Class10以上の64 GB～128 GB)
記録形式	映像：H.264 音声：PCM、モノラル
ファイルフォーマット	動画：MP4 静止画：JPEG
フロントカメラ	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	36 mm × 63 mm × 42 mm
質量	約63 g
推奨動作温度	−20℃～+65℃
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度(動画・静止画)	1 920 × 1 080
フレームレート	高画質：28 fps(駐車録画の場合は14 fps) 標準画質：14 fps
画角	水平：117° 垂直：63°
リヤカメラ	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	36 mm × 63 mm × 42 mm
質量	約63 g
推奨動作温度	−20℃～+65℃
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度(動画・静止画)	1 920 × 1 080
フレームレート	高画質：28 fps(駐車録画の場合は14 fps) 標準画質：14 fps
画角	水平：117° 垂直：63°

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

？ 使いかた・お手入れなどのご相談 お客様ご相談センター 電話  フリーダイヤル ゴー パナソニック 0120-50-8729 ■上記番号がご利用いただけない場合 045-929-0511 (有料) 受付時間 9:00～17:00 (年中無休) FAX (有料) 045-938-1573 受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く) よくあるご質問 (FAQ) メールでのお問い合わせ panasonic.jp/car/navi/faq 	🔧 修理に関するご相談 修理ご相談窓口 修理に関するお問い合わせは、お買い上げの 販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」 (P.45) へご連絡ください。 修理ご相談窓口サイト http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/car/repair.html
---	---

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
 (パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。 ドライブレコーダーの裏面にある製品銘板で、9桁の英数字をご確認ください。 ()
-------------------------------------	---

パナソニック株式会社 オートモーティブ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2020